マナスルより ⑥ 9月27日

21日からずっと悪天が続き、昨日暫くぶりの晴れ間を見せた天気が、やっと、本日快晴に転じモンスーン明けを知らせてくれました。
朝、この秋一番の冷え込みで、ＢＣでマイナス4度、風も吹き出しました。
一昨日から登頂へのスケジュール案を練っていましたが、前々からの予定を2日遅らせた案で行くことに決定しました。
明日28日Ｃ1，29日Ｃ2、30日Ｃ3，10月1日登頂、Ｃ2下山、2日、ＢＣ下山という行程です。
本日、日本マナスルガイド登山隊がアタックのためＣ1入りしました。私たちはルートおよびフィックス等の問題がおこらないよう先方の言い分をよく理解して、対処して行くつもりです。なお、フランス隊なども動きましたので、今月末はいい知らせになればいいと思います。
我々は、なにしろ敬老の日にお祝いの言葉が届く高年隊です。天候悪化をふまえ、2日間の停滞を含むプランで、無理は絶対にしません。酸素も十分に準備しました。危険地帯は高度の問題を無視して、エネルギーのために酸素を使用する予定です。
何しろ天候だけが、問題です。大崩はない模様ですので予定どうり完遂できればと思っています。
昨年春からこの快晴がくるのを待っていました。長かったです。では明日元気に行ってきます。あとは電話での連絡にな利ます。よろしく御ねがいいたします。明日は日本時間11時過ぎにＢＣを出ます。
(隊長大蔵)

ここからは、メンバーの今の心境を一言でつづります。

小川；今度こそ、マナスルの女神様よろしくお願いします。
鈴木；あこがれのマナスルを前にうれしさいっぱいです。一歩一歩が結　　果につながると、本当に嬉しい。
三原；一歩一歩、前へ前へ前へ。
南井；ベストを尽くした2回目のマナスル、どんな作品ができるか楽しみです。
山梨；いよいよ頂を目指して出発します。恐れず、おごらず、隊員の皆さんの力を借りて、精一杯頑張ってきます。私たちの健闘をお祈りください。
大蔵；淡々と行ってきます。